

# 希望の鐘

第178号

ひとつのつぼみはいちどしかひらかない

## 『凡事徹底』 自分を鍛え、更なる成長を

2学期を振り返れば、やはりコロナ。コロナに左右されながら、しかし、1学期ほどは影響されず、制限の中で、様々な行事をやる範囲で行ったという2学期でした。

その中で一番例年通りに行く予定であった体育祭。雨のため途中で切り上げなければなりませんでした。泥だらけで遊んだ経験がなかったためか、生徒の皆さんにとっては予想外の楽しい行事になりました。将来、中学校生活の中でも一番の思い出になる人もいるのではないのでしょうか。市中体秋季大会。市内24校中17番目の生徒数という少ない中で、剣道女子の優勝、バレー男子の準優勝という見事な成績を収めることができました。と同時に、このコロナ禍のなかでも、様々なことに注意を払えば試合ができるということが証明された大会でもありました。これがアンコンや冬休みの大会につながっていると思われます。コロナに負けることなく、希望をもち、みんなで力を合わせて創り上げた文化祭、そして合唱発表会。地域の方々や保護者の皆様のご協力のもと、例年通りとはいきませんでした。無事終了することができました。それもこれも生徒の皆さんが、今年のキーワード「主体的に動く」を自ら実践できたからだと思います。

さて、令和2年も終わりに近づき、新たに令和3年を迎えるにあたり、皆さんに次のことをお願いしたいと思います。

それは、「凡事徹底」ということです。意味は「人として当たり前で平凡な事でも、それを徹底して継続することで、非凡な優れた成果が得られる」ということです。では、人として当たりの事とはなんのでしょうか。私は、基本的な生活習慣のことであると考えます。

- 早寝、早起き、朝ご飯
- 自分から進んであいさつをすること
- 「はい!」と大きな声で、はっきりと返事をする
- 時間を守ること 等

この凡事徹底の取組によって、弱い自分に負けない心が育ち、学習も部活動も頑張る力がついてくると思います。それが「自分を鍛える」ことへつながり、夢の実現に近づいていくと考えます。

また、コロナの話の戻りますが、10月、11月と八戸でもクラスターが発生しました。1学期以上に気をつけて、気を引き締めて生活しなければなりません。

- ・3密を避ける
- ・マスクの常時着用
- ・うがい、手洗いの励行
- ・寒いけど、こまめな換気
- ・毎日の体温測定、健康チェック
- ・「早寝早起き朝ご飯」等の規則正しい生活による免疫力アップ 等です。

これを守ることは、絶対に必要です。毎日新聞やテレビで報道されていることです。皆さんは中学生です。事の重大さは全員が認識しているはず。体温を測っていないのに、測ったふりをして学校に来て、もし熱があったら……、考えただけでも鳥肌が立ちます。自分のためにも、人に迷惑をかけないためにも、必ず守りましょう。

この冬休み、事故非行なく、コロナ、インフルエンザなく、安全に過ごすとともに、規則正しい生活を送ってください。また、すがすがしい気持ちで新年を迎え、そして、決意を新たに令和3年に臨んでください。

3学期始業式、全員元気に、そして大きく成長した姿を見せてほしいものです。では、有意義な20日間を。良いお年をお迎えください。



## 2学期終業式意見発表

### ○1年1組 ○○ ○○

僕たちが2学期になって特に頑張ったことは2つあります。

1つ目は、様々な行事に真剣に取り組んだことです。体育祭では、本番大雨が降ってしまい、一部の競技ができませんでしたが、全体練習や軍練習など準備してきたことを生かし、力を発揮することができました。文化祭では、えんぶりや虎舞の練習に励み、本番で成功を収めることができました。また、展示についても初めてでしたが、協力して頑張りました。今年の経験を生かし、来年度はもっと素晴らしい行事にしていきたいと思います。

2つ目は、後期の1学年プログラム委員会の活動です。僕は、学年全体の中心となって活動するのは初めてで、不安でいっぱいでしたが、他のメンバーと力を合わせて現在も活動を頑張っています。後期は大きな行事があまりないぶん、色々な企画を立てて、1学年全体をもっと良い学年に作り上げていきたいです。コロナがまだまだ収束しない中、今まで以上に予防対策をしっかり行い、全体に呼びかけながら、3学期は次の学年に進んでいけるようになるための準備をしていきます。また、5次考査や実力テストに向けて、本気で勉強に取り組んでいきます。

### ○2年2組 ○○ ○

今年度の2学期はコロナ禍の影響で行事が縮小したり、各部活動の大会がなくなったりと、様々な制限が設けられ、昨年度までの日常が変化していることを身に染みて感じた期間でした。2学年はこの変化に苦戦しながらも、生徒、先生関係なく一体となって乗り越えていきました。

コロナ禍で様々な制限がある中でも、学年全体を成長させていくために、2学年は、授業態度、提出物チェックを行いました。授業態度チェックは担当の先生に挨拶、反応、態度の3項目についてABCの3段階で評価してもらいました。最初はどちらのクラスもBが多かったのですが、後半になるにつれ意識が変わり、Aの評価を増やすことができました。提出物チェックも同様でした。みんなの意識が変わっていき、成長を感じることにすごく達成感がありました。

一方で、達成されないうまま残り続けた課題も明らかになりました。それは「主体性」です。1学期から言われ続けてきたことでした。主体性の無さは、授業でよく現れます。答えがわかっているのに手を挙げられなかったり、わからない時に自分から質問することができなかったり、様々な場面で、自ら一歩前を出ようとしないところが僕たちの弱さです。僕はこの原因はマイナス思考だと考えています。2学年は、行動を起こすとき、一個のマイナスの影響を考えすぎ、多くのプラスの影響を考えて、積極的に動ける人が少ないと感じます。改善するためには、普段から良い影響を考える癖をつけることが大切だと思います。思いやりがあり、温かい雰囲気のある学年だからこそ、周りの目を気にしすぎず、安心して積極的に行動してほしいと思います。

明日からいよいよ冬休みに入ります。僕はさきほど述べた「主体性」を心がけて生活しようと思います。来年度は最高学年になるので、その準備期間として3学期を有効活用し、更なる成長を遂げていきたいです。

### ○3年2組 ○○ ○○

私たち3学年は、2学期の生活や行事で成長できたことがたくさんあります。まず、行事にも生活にも共通する「一つの目標に全員が全力で取り組む」ことです。今までどの行事も「成功させたい」「笑顔で終わるようにしたい」という目標がありました。しかし、その目標は何人かだけが持っていては達成できるものではありません。全員が一つとなって、目標に向かって全力で取り組むことで達成することができるのです。どの行事も、初めはみんなバラバラでまとまりがありませんでした。しかし話合いや練習を重ねたことで、本番は全員の全力で臨むことができ、行事を成功させることができました。

また、9月には「限られた中でも限りない楽しさと学びを創り出す旅」のテーマのもと、1泊2日の修学旅行へ行きました。たくさんの方が制限されている中でも、ルールやマナーを守り、楽しい時間を過ごすことができました。特に夜レクは、自分たちで「楽しさ」を創り上げることができたと思います。

そんな楽しかった行事などを終えて、いよいよ本格的に受験勉強が始まりました。積極的に先生に質問したり、友だち同士で教え合ったりと、学習に意欲的に取り組む人が増えてきました。しかし、受験生として「時間を守る」ことや「提出物の期限や内容」などへの意識がまだまだ低いと感じています。受験は一人一人の個人戦だと思われがちですが、それまでの授業の雰囲気は、学年やクラス全体が創り上げていくため、団体戦ともいえます。これからの大変なことや辛いことは、この仲間たちと助け合い、笑顔で卒業できるようにしたいです。